

CASBEE[®] 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)藤本金属商事(株)東寺プロジェクト 新築工事	階数	地上4F
建設地	京都府京都市南区西九条東比永町88番地 外4層	構造	S造
用途地域	市街化区域、準防火地域、眺望景観保全地域、景観地区	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,650 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、物販店、病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年5月 予定	評価の実施日	2019年5月17日
敷地面積	1,628.07 m ²	作成者	西川学
建築面積	1,058.76 m ²	確認日	2019年6月7日
延床面積	4,024.16 m ²	確認者	後藤 壮大



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 88%
 ③上記②以外の 88%
 ④上記+ 88%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.4

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	耐用年数高い材料を使用し、ライフサイクルコストを低減している。また、緑化を積極的に取り組んでいる。	その他 特になし。
Q1 室内環境	全館禁煙である。	Q3 室外環境(敷地内) 景観地区の認定を取っている。
LR1 エネルギー	外皮性能が高い。	LR3 敷地外環境 耐用年数高い材料を使用しライフサイクルコストを低減している。
Q2 サービス性能	耐用年数が高い内装仕上げ材、給排水配管材を使用している。	
LR2 資源・マテリアル	特になし。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される